

神海丸通信

No.8

日本時 2月22日、ハワイ4泊5日の滞在を終えた実習生は神奈川県の三崎へ向け、再び航海実習が始まりました。まだハワイの興奮が覚めないようですが、しっかりと気持ちを切り替え船内生活や作業に対応しています。

また、ハワイ滞在中も日々のラジオ体操や掃除、非常操舵・油濁防止操練、燃料積み込み作業などにも懸命に取り組んでいました。（上陸前には上陸前テストもありましたが… **結果は全員合格!**）



日本に向かう帰りの航海では、学習（授業）や船体整備作業が中心となります。航海も終盤に差し掛かり、「残すは日本に帰るだけ!」と気持ちが浮かれつつある実習生。こういった時にこそ、注意が必要です。乗船当初は常に緊張感を持って生活を送っていましたが、その緊張感も今では慣れに変わってしまった部分もあります。この船内生活に適応し日々を楽しんでいると言えますが、普段は気をつけていたこと（注意して行動していたこと）がおろそかになり、怪我に繋がる可能性もあります。だからこそ、帰りの航海では「メリハリ」を大切に、乗船中に注意されたことを再確認しながら生活を送っています。

これまで節分など船内行事を紹介してきましたが、実はレクリエーションを兼ねた様々な取り組みや企画も実施していました。その一つに、浜田を出港してから始動を開始した「神海丸筋トレ部」。己の限界に挑戦しつつ、皆で切磋琢磨する姿が見られています。また、透明度00mや漁獲量00kgを予想して「ピタリ当てた人は豪華賞品をプレゼント!」といった企画もあり、その賞品はジュース30本とチョコ5袋など、豪華賞品を独り占めした人も…! 更に更に甲板長より今回釣れたカジキの角を綺麗に加工したものをプレゼントして貰いました。釣れたカジキから作った物なので形や大きさはさまざまです。そこで、「大抽選会!」の開催です。見事1等に輝いた実習生は飛び上がるほど喜んでいました。貰ったハナは各自で丁寧に磨きあげ、強く輝きを増していました。輝きを増した角のように、実習生はこの乗船により本当に大きく成長しています。今後はこのカジキの角を見るたびに神海丸での乗船実習を思い出して、陸上でも同じようにメリハリのある日々の生活を過ごして欲しいと思います。

